

# 学校だより

京都府立城陽支援学校

平成24年度第6号  
平成24年11月1日発行  
校長 久貝 佳弘  
tel0774-53-7100  
fax0774-53-4044

## 【ふれあい・心のステーション】

9月19日、20日大丸京都店でふれあい・心のステーションがありました。

この取組は、府立の特別支援学校が一堂に集まり、日頃の学習の成果を府民の皆様にご覧いただく機会として、京都府教育委員会が主催し、大丸京都店に会場を提供していただいています。

本校は3年生が学校を代表して、2日間開店準備から閉店後の後片付けまで、店員としての意識を持ち、販売に取り組みました。オープニングセレモニーでは、本校3年宮川千晶さんが、生徒代表の挨拶を行いました。当日までの練習の成果を発揮し、言葉に詰まることなく立派な挨拶でした。学校紹介では、作業リーダーが元気よく製品紹介をしました。販売では、製品を丁寧に説明し、買っていただいた製品を感謝の気持ちを込めて包装し、お客様に手渡していました。

2日目には、1年生とPTAの見学がありました。3年生、1年生には、おもてなし隊という役もあり、入口でパンフレットの手渡しと、お客様への心地よい挨拶でお招きする役を担いました。この2日間の来客数は5,000名を超える大盛況でした。



## 【体育大会】

9月29日に秋晴れのもとで体育大会がありました。病弱教育部と通学高等部とが、それぞれ体育の授業でがんばって練習してきた組体操、マット演技やリレー等で力を発揮しました。両教育部合同でのエール交換では、赤と白に分かれて、団結した迫力のあるエール交換が行われました。午後2時から、体育館で重心教育部のカラーボールを使った演技の後、3教育部全員で、「心をひとつに」して、バルーンリレーを行いました。保護者の方をはじめ、地域の方や小中学校の先生も見に来ていただき、とても盛り上がり、感動的な体育大会となりました。



## 【重心教育部 Cグループ 校外学習】

『小さい秋 いっぱい 見つけた！！』

去る10月19日（金）に、重心教育部Cグループの児童生徒は、校外学習として「宇治市植物公園」に行ってきました。

前日の雨が嘘のような晴天、澄み切った青空の下、秋のそよ風を感じながら、色とりどりの秋の花々と頬寄せ合ったり、紅葉間近の木の葉のざわめきや水辺のせせらぎに耳を傾けたりと、自然の中の散歩をゆくゆくと楽しむことができました。

大きな温室にも入場し、湿り気のある空気の中、次々現れる珍しい熱帯雨林の植物に囲まれて、ちょっと不思議な感覚を味わうこともできました。

残念ながら体調を崩して参加できなかった友達へのお土産に、落ち葉やドングリをたくさん拾って、楽しい思い出と共に、みんな元気に病棟へ帰ってきました。



## 【全国大会】

10月13日～15日に岐阜県で開催された、全国障害者スポーツ大会に、京都府の代表選手として通学高等部の3名が出場してきました。水泳競技では、2年生の小林君が25m自由形で銅メダル、陸上競技では3年生の並木君が100mで銀メダル、200mで銀メダル、4×100mリレーで銅メダル、藪田さんが400mで銅メダルを獲得し、出場選手全員がメダルを獲得するというめざましい活躍でした。



## 【京都TUBASU会の方からの寄贈】

病弱教育部に卓球台を、重心教育部には赤マット及び教育支援機器（入力スイッチ）を寄贈していただきました。

京都ツバス会は、京都の飲食店のオーナーとその関連事業者の有志で結成され、活動されています。

病弱教育部では、卓球台をみんなで仲良く使えるように、使い方のルールを生徒会で話し合い、楽しんでいます。昼休みなどには楽しげな声が校舎に響いています。

重心教育部では、自立活動に赤マットを使って活動で使用しています。また支援機器のスイッチ類は、コミュニケーション支援ツールとして毎日の授業の中で大いに利用していきたいと考えています。

